

第3章 住民意向の把握

本章では、住民のまちづくりに関する意向を都市計画マスタープランに反映するため、2019年（令和元年）9月に実施した「武豊町都市計画マスタープランの策定に関するアンケート調査（以下、住民意向調査）」の結果を整理します。

（1）調査の概要

武豊町在住の18歳以上の方を対象に3,000人を無作為に抽出し、調査票を郵送により発送・回収しました。

図表 調査概要

項 目	内 容
調査対象	武豊町在住の18歳以上の方
配布数	3,000 通
調査方法	調査対象者の中から無作為に抽出
調査時期	2019年(令和元年)9月10日～2019年(令和元年)9月25日
回収状況	配布数:3,000 通 回収数:1,464 通 回収率:48.8%

図表 回答者の属性

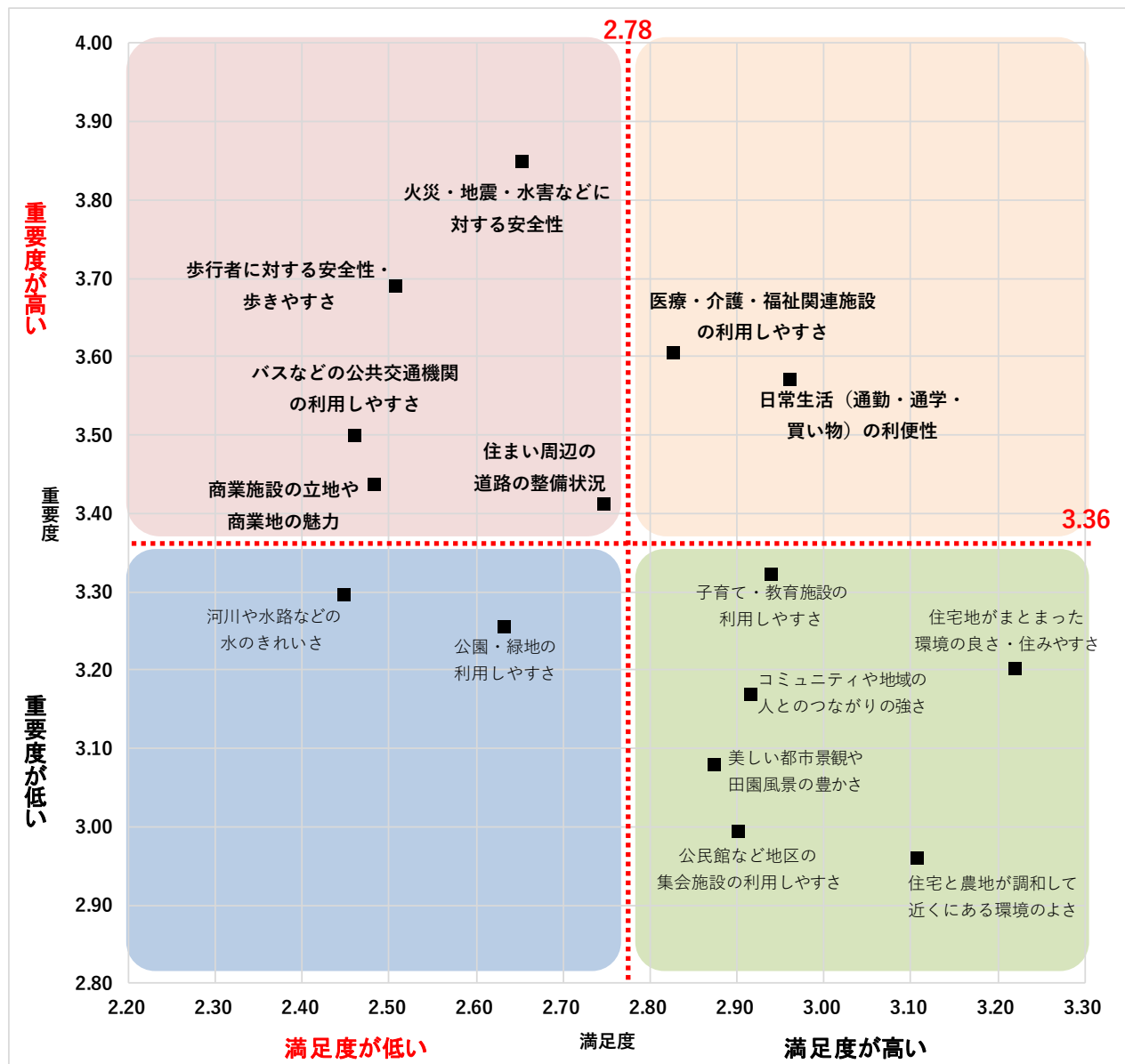
項 目	内 容
性別	「女性」が48.4%、「男性」が37.2%となっています。
年齢	「40歳代(19.7%)」が最も多く、次いで「50歳代(17.9%)」「30歳代(14.9%)」の順となっています。
世帯構成	「親と子からなる世帯(2世代家族)」が56.3%と最も多く、次いで「夫婦のみの世帯」21.4%、「親・子・孫(3世代家族)」9.6%の順となっています。
居住年数	「30年以上」が31.0%と最も多く、次いで「10年以上20年未満」22.7%、「20年以上30年未満」17.3%の順となっています。
住まい (小学校区)	「武豊小学校区(32.3%)」が最も多く、「緑丘小学校区(27.0%)」「衣浦小学校区(21.0%)」「富貴小学校区(16.1%)」の順となっています。

(2) 生活環境に対する満足度・重要度

重要度が高く、満足度も高い項目として、「日常生活（通勤・通学・買い物）の利便性」「医療・介護・福祉関連施設の利用しやすさ」が挙げられます。

重要度が高いにもかかわらず、満足度が低い項目として、「歩行者に対する安全性・歩きやすさ」、「火災・地震・水害などに対する安全性」、「バスなどの公共交通機関の利用しやすさ」が挙げられます。

図表 お住まいの地域の生活環境に関する満足度・重要度



※満足度の平均得点

$$= \{ \text{「満足」の回答数} \times (5 \text{点}) + \text{「まあ満足」の回答数} \times (4 \text{点}) + \text{「普通」の回答数} \times (3 \text{点}) + \text{「やや不満」の回答数} \times (2 \text{点}) + \text{「不満」の回答数} \times (1 \text{点}) \} / \text{回答数}$$

※重要度の平均得点

$$= \{ \text{「重要」の回答数} \times (5 \text{点}) + \text{「まあ重要」の回答数} \times (4 \text{点}) + \text{「普通」の回答数} \times (3 \text{点}) + \text{「あまり重要でない」の回答数} \times (2 \text{点}) + \text{「重要でない」の回答数} \times (1 \text{点}) \} / \text{回答数}$$

(3) 目指すべき将来像

これからの本町はどのようなまちを目指していくと良いかたずねたところ、「防災・防犯の充実したまち」が53.8%と半数以上で最も多く、次いで「住み続けられる快適な居住環境が整ったまち」が48.4%となりました。

図表 目指すべき将来像（複数回答）

